

2017.2.6 00:03

【明美ちゃん基金】医療団がミャンマー到着「技術伝えたい」

【ヤンゴン=小泉一敏】国内外の心臓病の子供たちを救う「明美ちゃん基金」（産経新聞社提唱）の医療団が5日、医療支援を行うためミャンマーのヤンゴン国際空港に到着した。ミャンマーに医療団を派遣するのは、昨年9月に続き4回目。6日からヤンゴンの国立ヤンキン子供病院で、心臓病の子供の治療などを通じて現地医師の教育支援を行う。

今回初めて参加した東京女子医大病院の石井徹子医師（48）は「主に超音波を使っの作業になると思う。こちらの先生と一緒に作業をしながら、伝えられることを伝えていきたい」と話した。

同じく初参加の神奈川県立こども医療センターの権守礼美看護師（44）は「課題となっている子供たちの術後管理や、看護師の立場から気がつくことを支援していきたい」と意気込んだ。

◇

「明美ちゃん基金」への振り込みは、みずほ銀行東京中央支店（店番号110）普通口座567941「産経新聞社会部明美ちゃん基金」。郵送の場合は、現金書留で〒100-8077 産経新聞東京本社社会部「明美ちゃん基金」。



ミャンマーのヤンゴン国際空港に到着した医療団 = 5日午後、ミャンマー・ヤンゴン（福島範和撮影）